

＜現行計画＞

基本構想

第1章 伊豆市の将来像

1 めざすまちのテーマ

自然・歴史・文化が薫る誇りと活力に満ちた
「伊豆半島の新基軸」・伊豆市

2 めざすまちのイメージ

「形」	ネットワーク型コンパクトタウン
「色」	風情と風格が漂う国際的な観光文化環境都市
「力」	地域への愛着や誇りを基調とした多様な主体による協働と連携

3 将来人口

28,500人（H37年度）

第2章 まちづくりの重点目標

重目1	魅力あふれる拠点の創造と交通体系の確保
重目2	安全で心地よい生活環境の創出
重目3	産業力の強化
重目4	まちへの誇りの醸成とブランド力の向上
重目5	少子化対策と次代を担う人材の育成

第3章 土地利用構想

ゾーン	市街地・中心集落地ゾーン
	居住環境・自然活用ゾーン
エリア	都市生活交流エリア
	インターチェンジ活用地域振興エリア 地域生活交流エリア

基本計画

重目1 魅力あふれる拠点の創造と交通体系の確保

- 【政策1】機能的で魅力あるコンパクトタウンの形成
- 【政策2】まちの骨格となる総合的な交通環境の創出

重目2 安全で心地よい生活環境の創出

- 【政策1】生涯健康の創造
- 【政策2】心地よい環境づくり

重目3 産業力の強化

- 【政策1】観光交流を中心とした地域産業の振興
- 【政策2】企業誘致や雇用創出に向けた取組の強化
- 【政策3】起業支援

重目4 まちへの誇りの醸成とブランド力の向上

- 【政策1】個性的な市民文化・都市文化の創造
- 【政策2】まちの個性づくりと情報発信

重目5 少子化対策と次代を担う人材の育成

- 【政策1】子育て支援の充実
- 【政策2】教育環境の充実

＜市民意見のポイント＞ ※赤字は改定にあたって留意すべき点

①市民のニーズ（アンケート調査）

＜20・30歳代の特徴＞

- ・子育て世代であることから、「妊娠・出産、子育てへの支援」、「出産・小児医療体制の充実」、「子どもがのびのび遊べる環境（公園・広場等）整備」、「子育て世代が交流できる場所」など、**子ども・子育て支援の充実に関するニーズが高い。**
- ・「観光交流を中心とした地域産業の振興」など、**地域に根差した産業の振興に関するニーズが高い。**
- ・**コンパクトな都市基盤整備に関するニーズが高い。**

＜40・50歳代の特徴＞

- ・働き盛りの世代であることから、「企業誘致や雇用創出に向けた取組の強化」など、**産業振興や雇用創出に関するニーズが高い。**
- ・子どもが成長過程にあるこの世代は、「教育環境の充実と郷土愛の醸成」、「こども医療費の充実」など、**学校・社会教育環境や子育て支援の充実に関するニーズが高い。**

＜60・70歳代以上の特徴＞

- ・地域の中で長年活躍してきたこの世代は、「多世代が交流できる場所」、「住民の憩いの場、居場所づくり」など、**日常生活における交流の場・機会づくりに関するニーズが高い。**
- ・また、「地域で支え合うコミュニティや絆づくり」、「地域全体で子育てを行う環境づくり」、「活動の担い手の育成・配置」など、**地域づくりや地域を支える人づくりに関するニーズが高い。**

＜まとめ＞

市全体のニーズとして

- 子ども・子育て、教育環境の向上
 - 産業力の強化と雇用確保
 - 地域の魅力の創生
- が高くなっており、重点的な施策の展開が必要。**

②子育て世代のニーズ（意見交換）

＜子育て世代が交流できる居場所づくり＞

- ・さくらこども園の拠点化など
- 交流や情報交換できる居場所づくりが必要。**

③中学生のニーズ（意見交換）

＜伊豆市のまちづくりや魅力向上に向けて＞

- ・教育環境の向上（英語教育（ALT・短期留学）の強化）愛郷心の醸成による伊豆市の魅力発信など
- 特色ある教育環境を創出することが必要。**
→伊豆市のことを良く知り、好きになることが必要。

④高校生のニーズ（意見交換）

＜まちづくりにおいて取り組みたいこと＞

- ・修善寺駅を活かした高校のPR、情報発信など
- 交通結節点としての機能のみならず、若者をはじめとする市民の交流の場、伊豆市のPRの場として修善寺駅を有効活用することが必要。**

＜策定時からの社会変動＞

- 文教ガーデンシティの整理
- 都市計画の見直し
- 人口減少（転出超過、出生数の減少）
- 観光業の雇用状況
- 東京2020大会の開催
- 伊豆縦貫自動車道の南進

＜改定のポイント（切り口）＞ ※赤字は改定にあたり特に重視する切り口

都市構造形成の前提：ネットワーク型コンパクトタウン

①修善寺駅周辺のまちづくりの推進

＜伊豆市の玄関口整備＞

- ・伊豆市の玄関口である修善寺駅周辺において、景観、自転車、空き家・空き店舗、若者交流、道路整備、多言語化看板、Wi-Fiなど、総合的な整備を進める。

②地域拠点づくりの推進

＜地域の賑わいを創生する拠点づくり＞

- ・修善寺、土肥、天城湯ヶ島、中伊豆の各地域の魅力高め、交流や人が集い賑わうような拠点づくりを進める。

③ネットワークの強化

＜拠点間を結ぶ交通網の強化＞

- ・修善寺、土肥、天城湯ヶ島、中伊豆の各拠点を結ぶ、道路・公共交通網の整備・強化など、持続可能な公共交通体系の構築に向けた取組を進める。

④質の高い住環境づくり

＜移住・定住ニーズを踏まえた住宅地の創出＞

- ・都市計画の見直し等による住宅地開発の適正誘導や、既存ストックを活用した定住の促進など、人口増加に向けた質の高い住環境づくりを進める。

⑤観光産業における雇用環境の充実

＜職任一体の就労支援と雇用マッチング＞

- ・若者・女性・シングルペアレント等に対する職任一体となった就労支援や雇用マッチングなど、伊豆市の基幹産業である観光業の雇用環境の充実に向けた取組を進める。

⑥多様な人材による地域づくり

＜地域づくりの新たな担い手の確保＞

- ・地域住民と、移住者や地域外の人材との関わりを深め、多様な人材による新たな魅力を創出する地域づくりを進める。

⑦子育て、教育環境の充実

＜家庭、地域、学校が連携した子育てと教育＞

- ・子どもを安心して生み育てることができ、子どもたちが充実した環境で学べるよう、家庭、地域、学校が連携した伊豆市ならではの特色ある取組を進める。

⑧国際的な観光文化環境都市の実現

＜風情・風格が漂う国内外に誇れるまちづくり＞

- ・伊豆市の地域資源を最大限に活用した観光プログラムやプロモーションを積極的に行うことにより、魅力ある観光まちづくりを進める。

⑨インバウンドの推進

＜おもてなしのまちづくり＞

- ・東京2020大会を契機に今後増加すると見込まれる外国人観光客に、心地よく滞在してもらうための取組を進める。

＜切り口を踏まえた改定の方向性＞ ※赤字はポイント

基本構想

第3章 土地利用構想

（都市生活交流エリア）

- ・**修善寺駅周辺の総合的なまちづくりの推進に向けたエリア形成の考え方に改定する。**

基本計画

重目1 魅力あふれる拠点の創造と交通体系の確保

- ・**修善寺駅周辺の総合的なまちづくり・子育て環境づくりに向けた施策を展開する。**
- ・各地域の魅力高め、各拠点間を結ぶ公共交通網の強化に向けた施策を展開する。

- ・**「文教ガーデンシティの創生」を削除する。**

関連する切り口：①②③⑦

重目2 安全で心地よい生活環境の創出

- ・**居住環境整備の推進や、移住・定住の促進策など、暮らしの場の創出に向けた施策を展開する。**

関連する切り口：②④⑤⑥

重目3 産業力の強化

- ・伊豆市の基幹産業である**観光産業の振興と観光交流の促進**に向けた施策を展開する。
- ・**観光産業の雇用環境の向上**に向けた施策を展開する。

関連する切り口：①⑤⑧⑨

重目4 まちへの誇りの醸成とブランド力の向上

- ・**観光客（日本人・外国人）への「おもてなし」**に向けた施策を展開する。

関連する切り口：①⑥⑧⑨

重目5 少子化対策と次代を担う人材の育成

- ・**妊娠・出産・子育てまでの切れ目のない子ども・子育て支援**に向けた施策を重点的に展開する。
- ・**時代の変化に対応できる教育環境の向上**に向けた**特色ある施策**を重点的に展開する。

関連する切り口：①②⑦⑧